

令和 4 年度より継続して取り組んでいる議題について【終結】

議題	地域移行の促進に向けた緊急時及び強度行動障がいのある方等の受入れ体制について
提案した部会	地域生活支援部会／権利擁護・虐待防止部会
提案時期	令和 4 年度 第 1 回
提案の背景 (当時の現状 と課題)	緊急時及び強度行動障がいのある方等の受入れ体制が十分に整備されていない現状があり、結果的に地域移行の障壁となっている。令和 4 年度にまいむ・まいむ（地域生活支援ネットワーク）が立ち上げた 3 つの連絡会（GH 連絡会、入所施設連絡会、短期入所連絡会）を活用し、こうした課題を解決するための効果的な仕組み作りについて検討する必要がある。
協議会での ご意見等 (抜粋)	【R 4 年度】 ・各サービス事業所連絡会を充実させ、緊急時受入れの仕組み等を検討できるようになると良い。 ・各サービス事業所連絡会の連携により、入所者と GH の交流や認識のすり合わせを進めるとともに、強度行動障がい者等の受け入れ先（移行先）として、質の向上に取り組む必要がある。 ・虐待ケースを受ける際の課題感を GH へ聞き、勉強会を開催していく必要がある。 【R 5 年度】 ・市が補助を行い空床確保を行うことを検討してほしい。 ・医ケア児協議会と短期入所連絡会の協議事項が重なることが予想されるため、整合の取り方や共有の仕方を検討してほしい。
協議会後の 取組	【地域生活支援部会】 〈GH 連絡会・入所連絡会〉 ◇GH 見学ツアー 入所施設職員を対象とした GH 3 類型の見学を実施した。 ◇入所施設見学会 知的障がいのある方を主な対象とした入所施設見学と GW を実施した。 ◇地域移行に関する勉強会 地域移行支援部会 WG と協働で、地域移行の説明と GW、事例検討を実施した。 〈短期入所連絡会〉 ◇空床情報共有ツール 各相談事業所が、インターネット上で GH の空床情報が確認可能となった。 ◇医療的ケア児 Co との協働による取組の実施 ・現状を把握するため、緊急時に関するアンケートを調査を実施した。 ・短期入所連絡会に医ケア Co にも参加していただき、GW の中で事業所との意見交換を行った。 〈強度行動障がい者や支援者に対する支援〉 ◇強度行動障がい者支援施設等サポート事業（入所施設向け） 3 施設へコンサルテーションを実施。 →令和 5 年度アンケートで「支援力が向上した」との回答が 100% ◇強度行動障がい者支援施設等サポート事業（通所施設向け） アドバイザーによる助言・指導を令和 6 年 9 月末時点で 14 件実施済み。 →令和 5 年度アンケートで「課題の改善に役に立った」との回答が 87.5%

	【権利擁護・虐待防止部会】 虐待等のケースを入所や GH で受けてもらう際に、まずは虐待の基礎知識を持ってもらう必要があると考え、下のような取組を実施した。 ◇入所施設連絡会との勉強会の実施 市内入所施設 9 か所の支援員（ケアワーカー）及び看護師 72 名に電子アンケートを実施。現場が抱える虐待にまつわる課題感などを確認し、虐待防止の観点でケアワーカー向けの研修会を令和 6 年 2 月 26 日実施。 ◇GH 連絡会との勉強会の実施 GH では、サービス提供の性質上、施設内の研修の体制が整いにくく、虐待を含め様々な人材育成の中での困難性があるとの意見があり、まずは、サービス管理責任者向けに事業所内研修の実施の仕方や人材育成についての勉強会を行うこととした。今年度 1 月以降に実施予定
今後の取組み (予定)	【地域生活支援部会】 ①GH 連絡会 ・虐待防止に関する勉強会の開催（虐待防止部会と連携） ・GH 見学ツアーの継続実施 ②入所施設連絡会 ・GH 連絡会や地域移行 WG との合同開催による意見交換 ・入所施設見学会の継続実施 ③短期入所連絡会 ・短期入所事業所利用促進のための取組（説明会の開催等） ・空床情報共有ツールの効果測定・改良 ④強度行動障がい者や支援者に対する支援 ・静岡市における強度行動障がいがある方の支援体制整備について検討（強行支援 PT） ・強度行動障がい者支援施設等サポート事業（入所・通所）の継続と一部見直しの検討 【権利擁護・虐待防止部会】 今後も必要に応じて、支援者に対する研修や啓発等を実施していく。

終結 ・ 継続	【地域生活支援部会】 〈理由〉 ・緊急時の受け入れに関する利用調査（短期入所の利用調査）を実施したことで、平時から施設を利用していない層が緊急時にもつながりにくいという課題が明確になり、短期入所事業所等と協力して研修を企画するなど課題解決に向けて方向性的見通しが立ったため。 ・強度行動障がい支援 PT の設置によって、支援に関する方向性的見通しが立ったため。 これらについて、議題としては終結とするが、数年での体制づくりは難しいため、引き続き取り組んでいくことで課題の解決を目指していく。 【権利擁護・虐待防止部会】 〈理由〉 GH や入所の連絡会とは研修会を実施するうえでそれぞれの抱える課題等も検討している。今後も、継続して支援者への啓発や研修等で知識やスキルの質を高める取り組みを継続していくことから、本議題については終結とする。
------------------------------	--